



中連協 概要資料

中華人民共和国訪日観光客受入旅行会社連絡協議会

Japan Council of Travel Agents For Chinese Visitors



中華人民共和国訪日観光客受入旅行会社連絡協議会
Japan Council of Travel Agents For Chinese Visitors

目次

中連協とは	2
概要	3
組織図	4
使命・存在意義	5
主な活動内容	6
訪日観光旅行を取り扱うには	7
今後の取り組み	8
将来のビジョン	9



中連協とは

中華人民共和国から日本への団体観光旅行が開始されたのは2000年。当初、年間1000人程度だった観光客は順調にその数を延ばし、現在は最も多くの訪日旅行者を期待される国となっています。その間、中国からの団体観光旅行の発展に大きな役割を果たしてきたのが「中華人民共和国訪日観光客受入旅行会社連絡協議会」＝「中連協」です。

中連協は、観光庁の指定した中国国民の訪日団体観光旅行及び個人観光旅行(2009年7月1日開始)において、「日本側の身元保証人となる招へい保証書」を発行できる旅行会社で構成されており、2000年8月7日に設立されました。

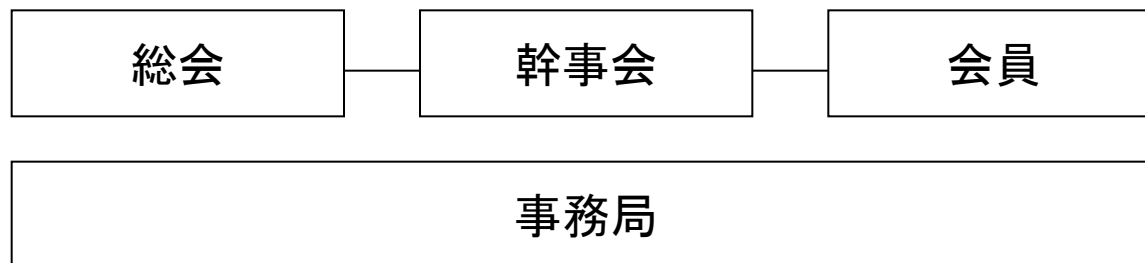


概 要

名 称	中華人民共和国訪日観光客受入旅行会社連絡協議会
通 称	中連協
目 的	中国国民の訪日観光旅行の円滑な実施を図り、日中友好の進展に貢献することを目的とする。
住 所	〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通霞ヶ関ビル3F 一般社団法人 日本旅行業協会内
連絡先	TEL:03-3592-1276 FAX:03-3592-1268
E-Mail	churenkyo@jata-net.or.jp
ホームページ	http://www.churenkyo.com/



組 織 図



会員について

中連協は、訪日観光旅行を取り扱う日本側指定旅行会社で構成されています。

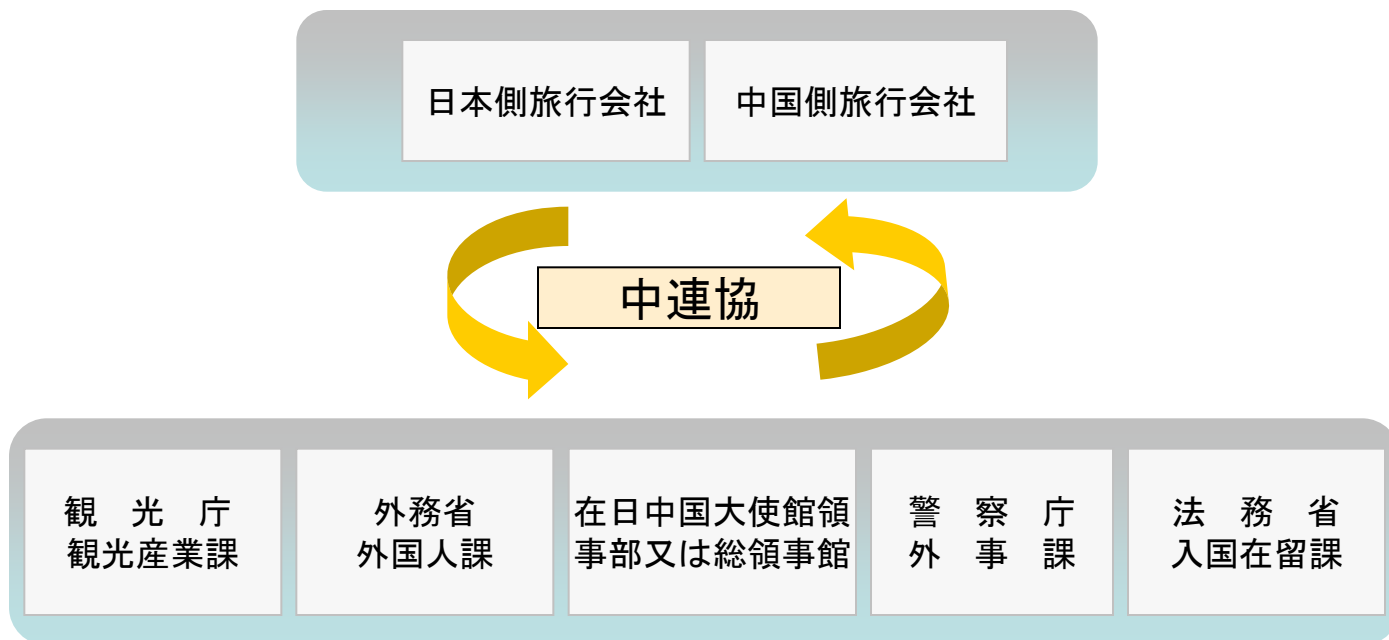
これまでは、日本側取扱旅行会社の指定の申請は、一定の時期に限って受け付ける方式でしたが、中国における団体観光査証発給対象地域が中国全土に拡大されたことを機に、常時受け付ける方式になりました。



使命・存在意義

中国国民の訪日観光旅行の実施に関する官公庁との連絡調整

訪日観光客として訪日した旅客の事故、病気、所在不明等
緊急事態が生じたときの情報収集、会員への適切な指導



主な活動内容

PR

中国国内で開催される旅行博イベント等での観光先としての日本のPR

情報収集

日本国内外で開催されるシンポジウム・セミナー、旅行博イベント等を通じた情報収集

意見
交換会

中国側旅行会社との意見交換会の実施

会員向け
セミナー

日本側指定旅行会社向け各種セミナーの実施

マニュアル・
制度の
周知と徹底

「訪日観光旅行取扱マニュアル」・「不適切事案の発生防止及び発生時の対処標準マニュアル」等、日本側制度の周知と徹底



訪日観光旅行を取り扱うには

1. 指定取得

観光庁から、日本側指定旅行会社としての指定を受ける

指定取得

中国側指定旅行会社との契約

中国側指定旅行会社との間で
旅行取扱契約書(団体・個人それぞれ)を締結する。
※ 契約書には、観光庁が定めたすべての必要事項が
記載されていること。

中連協への入会

日本側指定旅行会社の組織である中連協に入会する

契約及び入会手続きの完了

訪日観光旅行取扱開始



今後の取り組み

中国側旅行会社等との情報交換によるマーケットリサーチの強化

会員会社へのマニュアルなどの周知徹底 と遵守要請

ビジット・ジャパン・キャンペーンと連動した中国訪日観光客増加に向けた活動の推進

査証緩和に向けての交渉

国内外の旅行博イベントやセミナー等を通じ、関係諸機関との連携によるPR活動の実施

団体・個人観光旅行の円滑な実施と拡大



将来のビジョン

中国からの訪日観光旅行者への査証緩和

訪日観光客数の増加

中国国民の日本に対する理解を深めることによる友好・親善の確立

日中友好の更なる進展

